



## 議案の賛否

市民の皆様へ議会の説明 責任を果たすべく、  
さいたま市議会に上程された議案に対する採決態度とその理由（討論）について、  
立憲・国民・無所属の会さいたま市議団として独自に公表します。  
「会派合流・会派名変更前のデータも公表しています。」

2007/12/19

### 【民主党 さいたま市議団】 12月定例会教育市民委員会議案外質問（熊谷裕人）

#### 熊谷裕人

学校給食の意義について

社会状況の変化に伴い、学校給食の意義は導入当初からの意義に加え、健康教育の一環としての役割を担うようになったと思うが、学校給食の意義について改めて確認したい。

#### 答弁

学校給食は昭和29年に制定された学校給食法に基づき、当初は戦後の食糧難を背景に不足がちな栄養を給食で補うことを主な目的として実施されました。

現在では、食糧事情が改善され、学校給食の内容も充実し、健康教育の一環として、食の大切さや食文化、栄養のバランスなどを学び、健全な食生活を実践できる人間を育てる「食育」として位置付けております。

#### 熊谷裕人

地産地消について

地域で生産された農産物を食材として使うことによって、子どもたちの興味を誘い、市内農産物マップの作成や農業体験を通じて食の大切さの学びにつなげることが大切。地産地消の取り組みは？

#### 答弁

地元生産者と連携して児童生徒に地元の食材である「くわい」や「小松菜」を使用した給食を提供し、推進を図っております。

地元の食材を使用することにより、児童生徒のふるさとへの愛着心や生産者への感謝の心を育て、地元の食材への興味関心を持つことにもつながり、教育的意義が大きいと考えておりますので、さらに地産地消の推進に努めてまいります。

#### 熊谷裕人

食育教育について

2005年7月に制定された食育基本法で「食育」は、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践できる人間を育てることとあるが、食育教育への取り組み状況は？

#### 答弁

近年、子どもたちを取り巻く「食」に関わる問題は、朝食欠食、栄養の偏り、生活習慣病の増加、食事マナーの低下や人間関係の希薄化といった、心の問題まで指摘されています。

このような問題を解決するために学校では、学校給食を活用して、「食」に関する専門家である学校栄養職員が、学級担任と協力して各教科や総合的な学習の時間で、「食」に関する指導を行なっています。

今後につきましても、「食育」を推進してまいります。